

あかしSDGs推進助成金交付申請書

記載日を記入

2022年 4月 15日

明石市長 様

所在地 明石市中崎1丁目5-1
団体名 SDGsまちづくりパートナーズ
代表者名 明石 太郎

あかしSDGs推進助成金の交付を受けたいので、あかしSDGs推進助成金交付要領第7条第1項の規定により、次のとおり関係書類を添えて申請します。

記

交付申請額 300,000 円

[添付書類]





- 1 事業計画書(様式第2号)
- 2 収支予算計画書(様式第3号)
- 3 その他

チェックしてください。

[確認事項] ※内容を確認し、内容に相違なければ□に✓をしてください。

- 暴力団員(暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。)又は暴力団(同条第2号に規定する暴力団をいう。)もしくは暴力団員と密接な関係を有する団体等ではありません。
- 明石市税の滞納はありません。
- 市税滞納の有無について所管課に確認することに同意します。
- 助成金の趣旨・目的に反する支出をした場合や、助成金確定額が概算払いとして受領した金額を下回るなど、市から助成金の返還請求を受けた場合は、請求分を速やかに市へ返還します。

あかしSDGs推進助成金 事業計画書

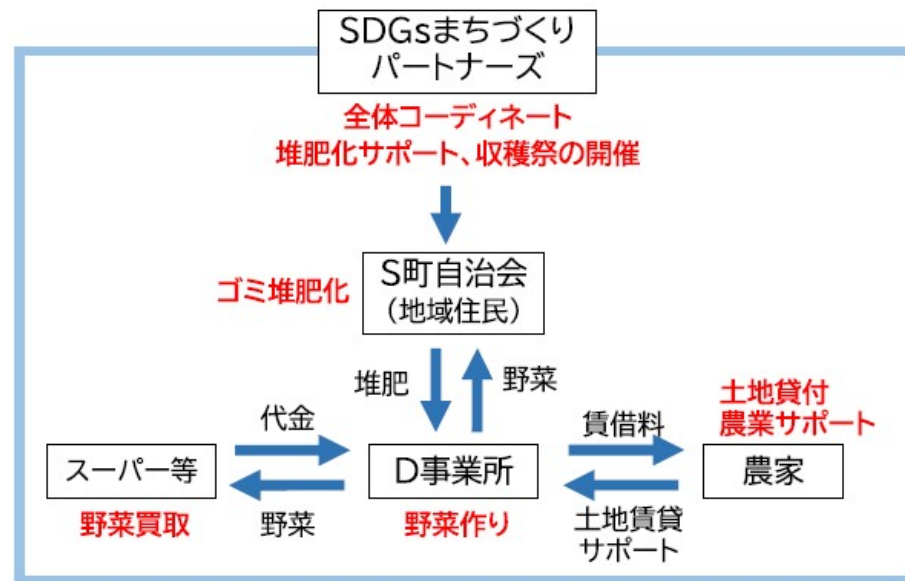
団体名	SDGsまちづくりパートナーズ			
団体概要	明石市のS町を中心に環境問題に取り組んでいる市民団体。ごみの削減に力を入れており、コンポストでの堆肥化の推進を行っている。また、こどもを対象とした、環境教育にも力を入れており、月に1回地元での自然観察会を実施している。			
担当者	部署名	事務局	担当者名	西明石 花子
	連絡先	[TEL] 918-XXXX	[E-mail]	sdgspartners@XXX.com
事業名	人にも地球にもやさしい堆肥化事業			
実施期間	2022年9月1日 から 2023年2月28日 まで			
事業の目的	①解決を目指す地域課題			
	<ul style="list-style-type: none"> ・各家庭より一定量の生ごみが発生している。 ・障害者の雇用の場が少ない。 ・遊休農地があるが、農家の高齢化や後継者不足で活用の目処がたっていない。 			
	②期待される効果			
	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭ごみの排出量削減 ・障害者の雇用機会の確保 ・遊休農地の有効利用 ・こどもへの農業体験や食育の機会提供 			
達成したいゴール	   			
事業内容	①対象者等			
	[対象者・対象地域] S町自治会、D事業所(就労継続支援B型事業所)			
	[対象者人数/参加見込者数] 300人			
	[対象者が主体的に事業へ参加できるための工夫] <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ堆肥化の講師も入れたLINEグループを作成し、質問しやすい環境を整えるとともに、成果をメンバーと共有し、自主性を育めるよう工夫する。 ・D事業所と月1回定例ミーティングを設け、情報共有や意見交換を行う。 			
②事業内容(どのような事業をどのような方法で実施するのか)				
<ul style="list-style-type: none"> ・S町自治会協力のもと、自治会内で生ごみの堆肥化に協力してもらえる住民(以下、堆肥化メンバーと表記)を募り、コンポストを寄贈。 ・当団体がコンポストの使い方講座を開催し、生ごみ堆肥化プロジェクト始動。随時堆肥化メンバーからの質問を受け付けるほか、LINEグループを作り、メンバー内 				

アイコンで記載

の情報共有とモチベーションの向上を図る。

- ・町内の遊休農地を有する農家が農作物を栽培できる就労継続支援B型事業所へ農地を貸す。
- ・できた堆肥を活用し、遊休農地にて地元農家の協力を得ながら、D事業所が減農薬野菜等を栽培する。
- ・収穫した野菜は町内の個人スーパー等で販売するとともに、堆肥の提供回数に応じて堆肥化メンバーに提供する。
- ・種まきや収穫の際は地域のこども会と収穫祭を開催し、農業体験及び食育の機会とする。

[事業関連図]



事業内容

③経済・社会・環境の3側面への効果

[経済]

- ・遊休農地の有効活用

[社会]

- ・障害者の雇用機会の拡大と働きがいの向上
- ・こども達への農業及び食育の機会提供

[環境]

- ・ごみ排出量の削減

④事業の先導性(新しい視点・独自の創意工夫点)

「遊休農地の有効活用」、「障害者の雇用機会の拡大」、「こども達への農業及び食育の機会提供」及び「ごみ排出量の削減」といった複数の地域課題解決に対して、地域や障害者事業所とともに取り組む点が先導的であると考えられる。

⑤事業における包摂性(多様性やジェンダーの視点)

- ・D事業所が野菜等の栽培を行うことで、障害者の雇用機会の拡大につながる。

他団体等との 連携の有無	①連携の有無
	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
他団体等との 連携の有無	②(①が有の場合)連携先・役割
	<p>[連携先・役割]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・D事業所(就労継続支援B型事業所)/野菜の栽培 ・S町自治会/住民への取組周知(堆肥化メンバーの募集等) ・地元農家/農地管理及び野菜の栽培のアドバイザー
情報発信	<p>[多くの人に取組を周知できるようにするための工夫点等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体で運用しているホームページや SNS で当該取組を随時情報発信する。 ・自治会が定期的に発行しているお便りへ寄稿する。
事業の継続性	<p>[翌年度以降に向けた継続的な取組とするための工夫点等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次年度からは、地元住民や企業にサポーター会員を募り、コンポスト代等にあてる(使えるコンポストは再利用)。 <p>[個人サポーター特典]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収穫の際に野菜のおすそ分けをする。 ・キッズガーデン[*]の使用料及びイベント参加料無料 <p>[*]地元農家とコラボした、こども達が日常的に農業や自然体験ができる場。月1回イベントを開催予定。</p>

●実施スケジュール

年 月	実 施 内 容
2022年 9月	<ul style="list-style-type: none"> ・遊休農地の地主と市内就労継続支援B型事業所が委託契約を行い、野菜の栽培開始。 ・自治会会員に堆肥化サポーターを募る。 ・コンポストを購入し、コンポストの使い方講座を開催。生ごみの堆肥化開始。
2022年 10月	<ul style="list-style-type: none"> ・コンポスト堆肥の提供開始。
2022年 11月	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のこどもや関係者を招いて、秋野菜の収穫祭を実施。 ※随時、HP 等で情報発信。
2023年 2月	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のこどもや関係者を招いて、冬野菜の収穫祭を実施。 ※随時、HP 等で情報発信。

あかしSDGs推進助成金 収支予算計画書

1 収入の部

(単位:円)

費目	予算額	内訳
あかしSDGs推進助成金	300,000円	
国・県からの補助金等	0円	
その他	0円	
合計	300,000円	

2 支出の部

(単位:円)

費目	予算額	内訳
謝金		
旅費		
委託費		
印刷費	25,000円	・チラシ・ポスター作成料
使用料		
消耗品費	265,000円	・コンポスト ¥2,500×50家庭×2(1家庭2個) ・収穫祭用物品(紙皿・紙コップ、調味料、アルコール消毒、軍手等)
保険料	10,000円	・レクリエーション保険
通信費		
その他		
合計	300,000円	

※支出の合計と収入の合計は同額となるよう記載してください。

※助成対象経費のみ記載し、できるだけ具体的に記入してください(詳細資料を別添可)。